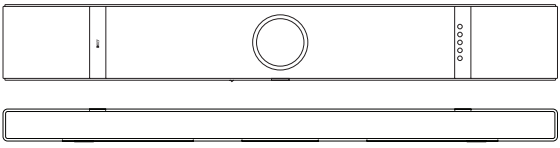
ワイヤレスサラウンドシステムのセットアップガイド

XIO
サウンドバー



KEF

2026 V01

目次

1. はじめに 3
- 1.1 対応製品 3
- 1.2 システム要件 3
- 1.3 システム構築の考え方 4
  - 1.3.1 セットアップ手順 5

2. XIOサウンドバーの準備 6
- 2.1 ホームネットワークでのXIOの設定 6
- 2.2 XIOのファームウェアの更新 7
- 2.3 XIOの送信機ファームウェアの更新 7

3. KW2でサブウーファーのセットアップを行う 9
- 3.1 対応サブウーファー 9
- 3.2 KW2とサブウーファーの接続 9
  - 3.2.1 KEFのサブウーファー 9
  - 3.2.2 KEF製以外のサブウーファー 10

4. KW2を使ってサラウンドスピーカーをセットアップする 11
- 4.1 対応するKEFスピーカーシステム 11
- 4.2 初期設定とファームウェアの更新 11
- 4.3 KW2とスピーカーの接続 12
  - 4.3.1 LSX II および LSX II LT 12
  - 4.3.2 Coda W 12
- 4.4 KW2 RXレシーバーの設置 12

5. ワイヤレスサラウンドシステムのセットアップ 13
- 5.1 配置 13
  - 5.1.1 サブウーファー 13
  - 5.1.2 サラウンドスピーカー 13
  - 5.1.3 リスニングポジション 14
- 5.2 KEF Connect アプリでのワイヤレスサラウンド設定 14
  - 5.2.1 セットアップ・ウィザードの開始 14
  - 5.2.2 サラウンドスピーカーの選び方 15
  - 5.2.3 サブウーファーの選び方 16
  - 5.2.4 サラウンドスピーカーとしてのスピーカーシステムに関する特記事項 17

6. ワイヤレスサラウンドの操作と設定 18
- 6.1 音量調整と制御 18
- 6.2 オーディオモードの変更 19
- 6.3 安定モード 21

7. トラブルシューティング 22

8. よくある質問 26

1. はじめに

KEFサウンドバー – XIOをお選びいただきありがとうございます。

このガイドでは、複雑な配線作業を必要とせずに、XIOをワイヤレスサラウンドシステムに変える手順を詳しく解説します。

互換性のあるKEFのスピーカーやサブウーファーをKW2 RXレシーバーを介して接続することで、XIOからのオーディオ信号が各接続機器にワイヤレスで配信され、リスニングエリア内にケーブルが1本も通ることなく、すべてのチャンネルを同期させることができます。

ワイヤレスサラウンドシステムを設定する前に、このガイドをよくお読みください。

1.1 対応製品

以下のKEFスピーカーシステムは、サラウンドスピーカーとして使用可能です：

- LSX II
- LSX II LT
- Coda W

以下のサブウーファーは、ワイヤレスサラウンドシステムで使用できます：

- KC62
- KF92
- Kube MIE
- KC92
- Kube 8b/10b/12b
- KEF製以外のサブウーファー：アナログ入力または光入力を備えたサブウーファーであればどれでも。

1.2 システム要件

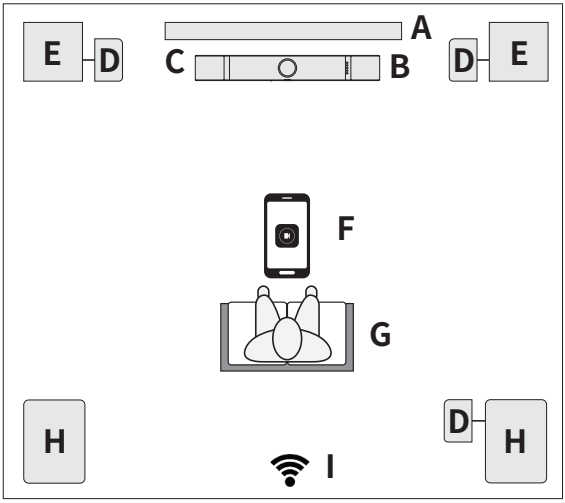
ワイヤレスサラウンドシステムを設定するには、以下の要素が必要です：

- XIO サウンドバー
- KEF Connect アプリ（お使いのモバイル端末にインストール済み）
- KW2 RX 受信機
- サブウーファー
- LSX II、LSX II LT、またはCoda Wスピーカーシステム（サラウンドスピーカーとして）
- 自宅のWi-Fiネットワーク

1.3 システム構築の考え方

このワイヤレスサラウンドシステムは、互換性のあるKEFスピーカーおよびサブウーファーにKW2 RXレシーバーを接続し、同じホームWi-Fiネットワークを介してXIOサウンドバーとペアリングすることで構築されます。お使いのモバイル端末にインストールされた「KEF Connect」アプリで、ペアリングやサウンド設定を行うことができます。

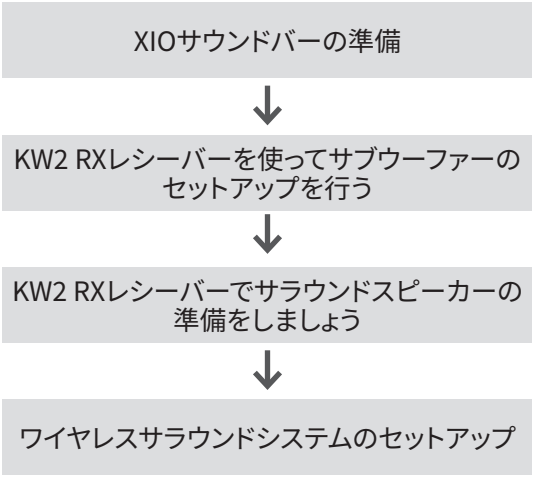
このシステムでは、最大でワイヤレスサブウーファー2台とサラウンドスピーカー1組に対応しています。



A	テレビ
B	XIO サウンドバー
C	XIOトランスミッター（XIOサウンドバー内部の部品）
D	KW2 RX 受信機
E	サブウーファー
F	KEF Connectアプリ
G	リスニングポジション
H	サラウンドスピーカー
I	自宅のWi-Fiネットワーク*

*干渉を防ぐため、Wi-Fiルーターは無線機器から離して設置してください。

1.3.1 セットアップ手順



- このガイドでは、セットアップの全手順を順を追って説明します。
- ワイヤレスサラウンドの初期設定には、30分から60分ほどかかる場合があります。
- セットアップ中に、XIOサウンドバー、KW2 RXレシーバー、サブウーファー、およびサラウンドスピーカーのファームウェア更新が必要になる場合があります。その結果、デバイスが自動的に数回再起動する場合があります。オーディオ性能を評価する前に、セットアップ手順をすべて完了させることをお勧めします。

2. XIOサウンドバーの準備

2.1 ホームネットワークでのXIOの設定

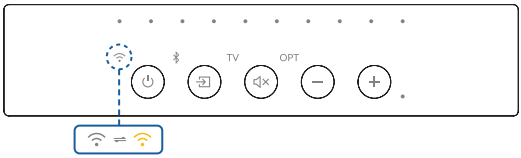
ワイヤレスサラウンドシステムを設定する前に、まずXIOサウンドバーを自宅のWi-Fiネットワークに接続する必要があります。そのためには、モバイル端末に「KEF Connect」アプリをインストールし、XIOをローカルネットワークに「登録」してください。

1. iOS*またはAndroid**デバイスに「KEF Connect」をダウンロードしてインストールしてください。

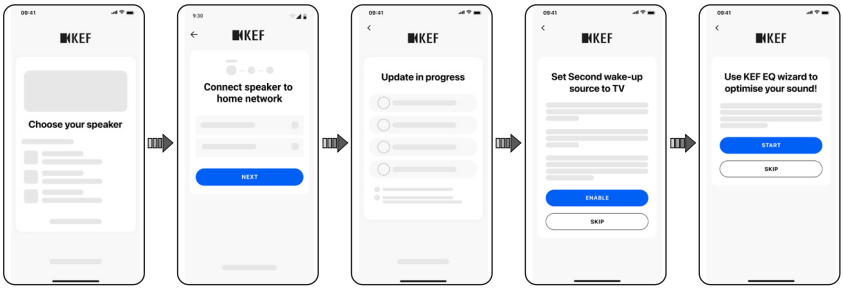


*iOS 14以上が必要です。最新の要件については、App Storeを参照してください (変更されることがあります)。
**Android 10以上が必要です。最新の要件については、Google Playを参照してください (変更となる場合があります)。

2. XIOのコントロール パネルのWi-Fiアイコンを確認してください。Wi-Fiアイコンがオレンジ/白で交互に点滅しているときは、使用開始する準備ができています。



3. KEF Connectアプリを起動し、ユーザーアカウントを作成し、画面の指示に従ってXIOを設定します。



「オンボード」機能の詳細については、XIOの取扱説明書をご参照ください。

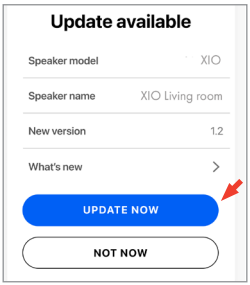
2.2 XIOのファームウェアの更新

ワイヤレスサラウンドシステムを設定する前に、XIOのファームウェアが最新であることを確認してください。

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「Speaker update」(スピーカーアップデート) をタップします。



3. アップデートが利用可能な場合は、「Update now」(今すぐアップデート) をタップして、ファームウェアのアップデートを続行します。



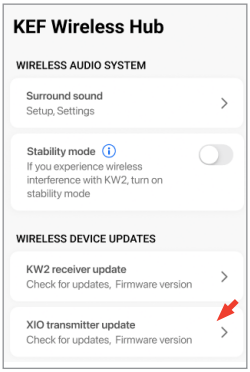
2.3 XIOの送信機ファームウェアの更新

ワイヤレスサラウンドシステムを設定する前に、XIOの送信機のファームウェアが最新であることを確認してください。

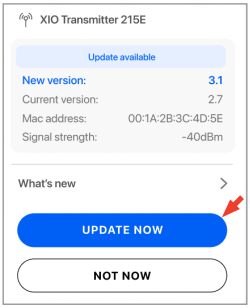
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「KEF Wireless Hub」をタップします。



3. 「ワイヤレスデバイスのアップデート」の下にある「XIOトランスミッターのアップデート」をタップします。



4. アップデートが利用可能な場合は、「今すぐアップデート」をタップして、送信機のファームウェアのアップデートを進めてください。



3. KW2でサブウーファーのセットアップを行う

KW2は、XIOサウンドバー用のワイヤレスレシーバーアクセサリーです。XIOサウンドバーからの無線信号を受信し、接続されたサブウーファーに送信するため、ケーブルを敷設することなく、部屋のどこにでもサブウーファーを設置することができます。

3.1 対応サブウーファー

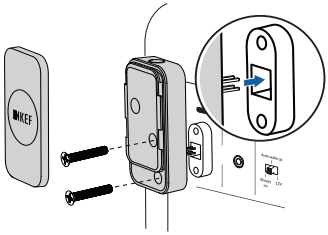
- KEFのサブウーファー：
  - KC62
  - KF92
  - Kube MIE
  - KC92
  - Kube 8b/10b/12b
- KEF製以外のサブウーファー：オーディオ入力または光入力を備えたサブウーファーであればどれでも。

3.2 KW2とサブウーファーの接続

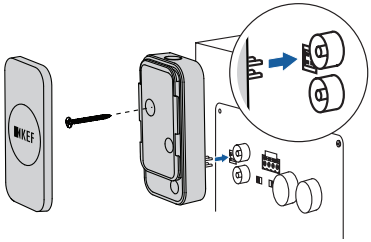
3.2.1 KEFのサブウーファー

- KEFのサブウーファーを使用する場合は、KW2 RXレシーバーの専用オーディオ出力端子を、サブウーファーの拡張ポート（**E**）に接続してください。

KC62／KF92／Kube MIE／KC92

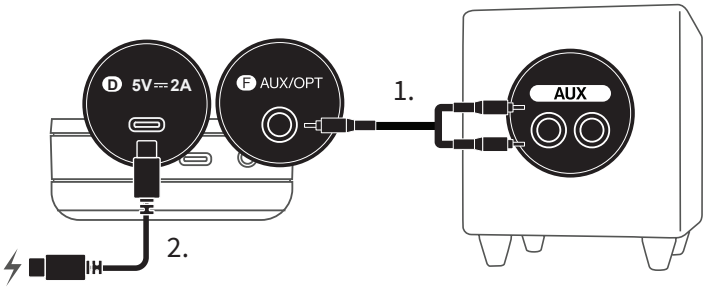


Kube 8b/10b/12b



3.2.2 KEF製以外のサブウーファー

1. KW2 RXレシーバーとサブウーファーを、3.5 mm - RCAオーディオケーブルで接続してください。
2. KW2 RXレシーバーのUSBポートを、外部USB電源に接続してください。



接続の詳細については、KW2 RXレシーバーの取扱説明書をご参照ください。

4. KW2を使ってサラウンドスピーカーをセットアップする

対応するKEFスピーカーシステムは、KW2 RXレシーバーを介して接続することで、XIOのサラウンドスピーカーとして使用できます。

4.1 対応するKEFスピーカーシステム

以下のKEFスピーカーシステムは、サラウンドスピーカーとして使用可能です：

- LSX II
- LSX II LT
- Coda W

4.2 初期設定とファームウェアの更新

1. **LSX II および LSX II LT：**モバイル端末に「KEF Connect」アプリをインストールし、スピーカーシステムをローカルネットワークに「登録」してください。

   Coda W：Bluetooth経由でCoda Wにすでに接続されているモバイル端末に、KEF Connectアプリをインストールしてください。



2. スピーカーシステムのファームウェアが最新であることを確認してください。そのためには、KEF Connectアプリのホーム画面下部にある「設定」アイコン（⚙）をタップしてください。次に、「スピーカーのアップデート」をタップして、アップデートが利用可能かどうかを確認してください。利用可能な場合は、「今すぐ更新」をタップして、ファームウェアの更新を進めてください。

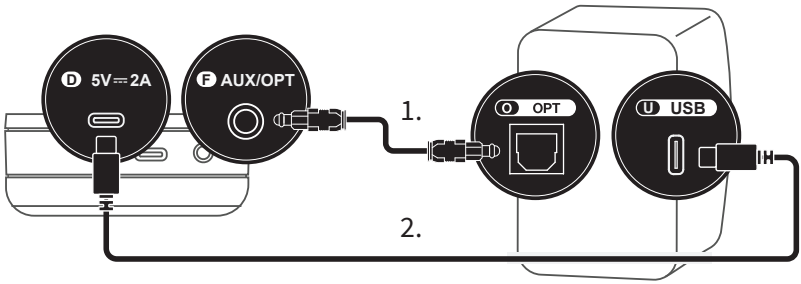


「セットアップ」および「ファームウェアの更新」に関する詳細については、スピーカーシステムの取扱説明書をご参照ください。

4.3 KW2とスピーカーの接続

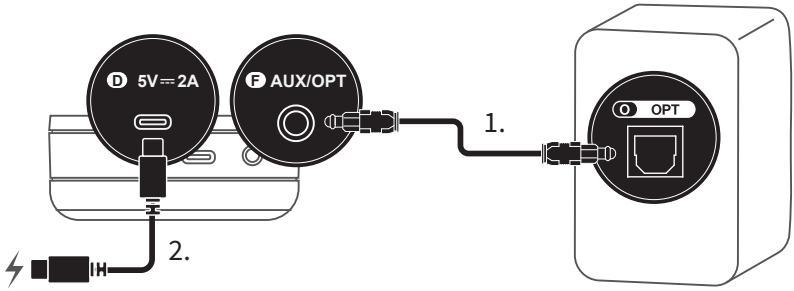
4.3.1 LSX II および LSX II LT

1. KW2 RXレシーバーのAUX/OPTコネクタと、スピーカーの光端子（OPT）を**光ケーブル**で接続してください。
2. KW2 RXレシーバーのUSBポートとスピーカーのUSBポートを、USBケーブルで接続してください。



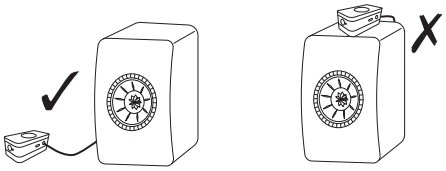
4.3.2 Coda W

1. KW2 RXレシーバーのAUX/OPTコネクタと、スピーカーの光端子（OPT）を **光ケーブル**で接続してください。
2. 最適な使用環境を得るには、KW2 RXレシーバーのUSBポートを外部USB電源（5V/2A）に接続してください。



4.4 KW2 RXレシーバーの設置

- 信号干渉を防ぐため、KW2 RXレシーバーはスピーカーから離して設置してください。スピーカーの上に直接置かないでください。



5. ワイヤレスサラウンドシステムのセットアップ

5.1 配置

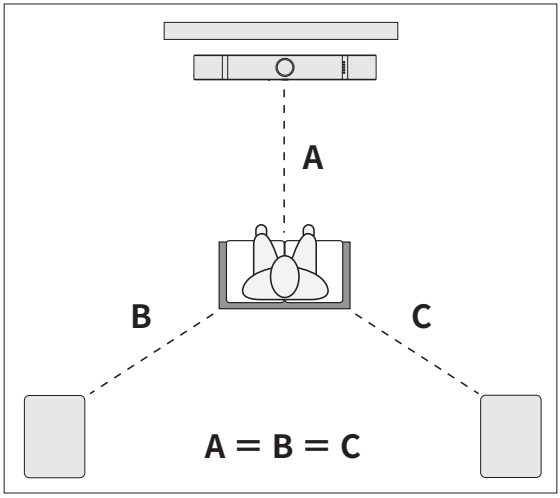
最高のオーディオ性能とリスニング体験を実現するには、オーディオ機器の最適な配置が不可欠です。

5.1.1 サブウーファー

- 低音域は全方向性であるため、サブウーファーの設置場所の選択肢はより柔軟です。さまざまな配置で実験してみて、最も均一で自然な低音レスポンスが得られる場所を見つけてください。
- 一般的には、角や壁に沿った場所が人気です。しかしながら、サブウーハーを隣接する壁に近すぎる場所に設置することは避けてください。

5.1.2 サラウンドスピーカー

- サラウンドスピーカーは、リスニングポジションの両脇、やや後方に配置してください。理想的には、リスニングポジションからXIOサウンドバーまでと同じ距離に配置するのが望ましいです。



5.1.3 リスニングポジション

- 実際には、理想的なリスニングポジションを確保できるとは限りません。スピーカーの配置が理想的でないために生じる音量の不均衡を補正するには、音量マッチング を使用することができます。目的は、メインのリスニングポジションから聴いた際に、XIOサウンドバーとサラウンドスピーカーの両方から、同等の知覚音量を得られるようにすることです。
- リアサラウンドスピーカーをリスニングポジションのすぐ近くに設置する場合、XIOサウンドバーと同等の音量感を得るために、音がリスナーの方へ向くよう、スピーカーをわずかに内側に向けて（トーイン）設置する必要がある場合があります。

5.2 KEF Connect アプリでのワイヤレスサラウンド設定

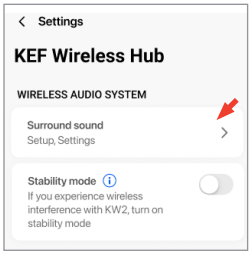
KW2 RXレシーバーの準備が整ったら、モバイル端末の「KEF Connect」アプリを使ってワイヤレスサラウンドシステムを設定できます。

5.2.1 セットアップ・ウィザードの開始

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「KEF Wireless Hub」をタップします。



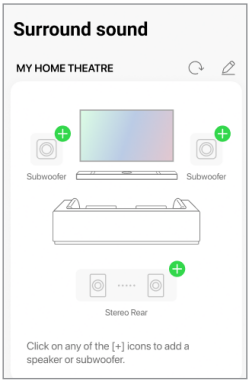
3. 「ワイヤレスオーディオシステム」の下にある「サラウンドサウンド」をタップします。

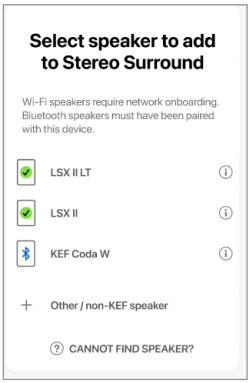


5.2.2　サラウンドスピーカーの選び方

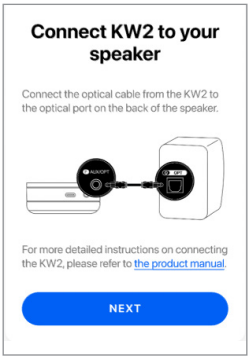
1. 「Stereo Rear」の横にある「+」アイコンをタップします。
2. サラウンドスピーカーとして使用するスピーカーシステムの名前をタップしてください。その後、画面の指示に従って手続きを完了してください。

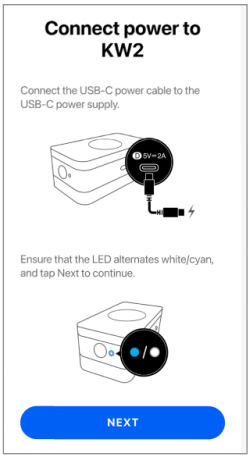
[ステップ 1–2]





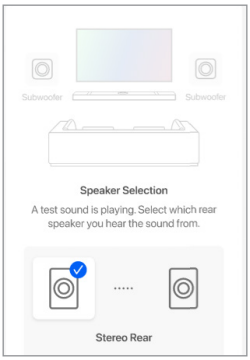
3. 画面の指示に従って、KW2 RXレシーバーを設定してください。

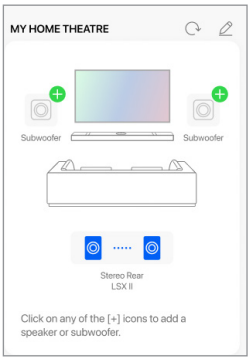




4. 完了すると、サラウンドスピーカーのいずれかからテスト音が再生されます。テスト音が聞こえるリアスピーカーを選択してください。その後、左右のチャンネルがそれに応じて割り当てられます。画面の指示に従って、チャンネルの割り当てを完了してください。

   スピーカーのアイコンが青色に変わったら、サラウンドスピーカーの使用準備が整いました。



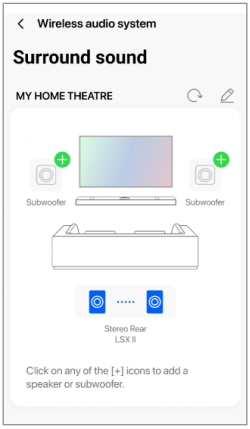


利用可能な場合は、更新アイコン( )をタップして、KW2 RXレシーバーの接続を更新できます。または、編集アイコン( )をタップして、システムからサラウンドスピーカーやサブウーファーを削除します。

5.2.3 サブウーファーの選び方

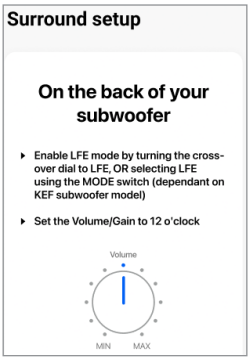
1. 「サブウーファー」の横にある「+」アイコンをタップします。
2. 使用するサブウーファーの名前をタップしてください。KEF製以外のサブウーファーを使用する場合は、「その他」をタップしてください。

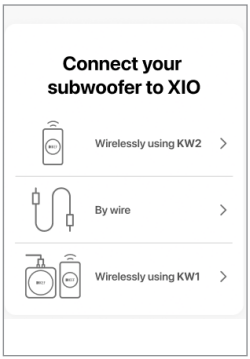
[ステップ 1–2]

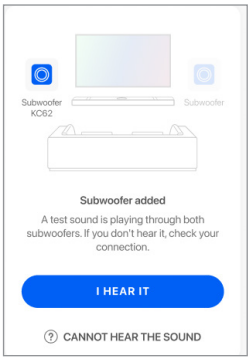




3. 画面の指示に従って設定を完了してください。これには、サブウーファーの背面にあるLFEモードの有効化や、接続先として「KW2 RXレシーバー」の選択などが含まれます。完了すると、サブウーファーからテスト音が鳴ります。画面の指示に従って、接続を完了してください。







利用可能な場合は、更新アイコン( )をタップして、KW2 RXレシーバーの接続を更新できます。または、編集アイコン( )をタップして、システムからサラウンドスピーカーやサブウーファーを削除します。

5.2.4 サラウンドスピーカーとしてのスピーカーシステムに関する特記事項

スピーカーシステムがサラウンドスピーカーとして割り当てられている場合、一部のスピーカーの動作は、通常の単体動作とは異なる場合があります。

- 赤外線制御は無効になっています（光入力モードのみ）。
- 2番目のウェイクアップソースは、「光」ソースに設定されています。
- Wi-Fi対応スピーカー（LSX II、LSX II LT）の場合、光モードではスタンバイ時間が無効化されており、スピーカーの電源オン／オフはXIOによって制御されます。
- Coda Wの場合、待機時間は30分で、オーディオ信号によってスピーカーが起動します。
- EQの設定は、XIOサウンドバーをサラウンドモードで使用する際に、自動的に最適化されます。このモードでは、標準のEQ設定は利用できません。

6. ワイヤレスサラウンドの操作と設定

ワイヤレスサラウンドシステムのセットアップが完了したら、お使いのリスニング環境に合わせてさらに微調整を行うことができます。

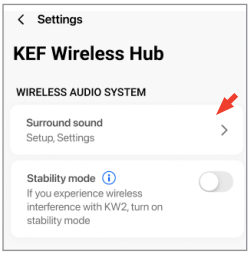
6.1 音量調整と制御

リスニングポジションからXIOサウンドバーおよびサラウンドスピーカーまでの距離は、理想的には均等であるべきですが、音量調整機能により、設置位置が最適でないために生じる音量のばらつきを補正することができます。

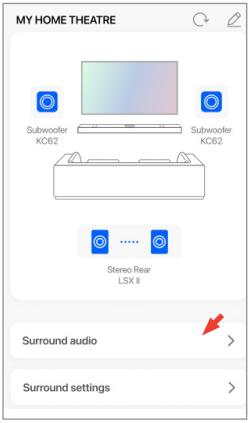
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙)をタップします。
2. 「KEF Wireless Hub」をタップします。



3. 「ワイヤレスオーディオシステム」の下にある「サラウンドサウンド」をタップします。



4. 画面下部の「サラウンドオーディオ」をタップします。



5. 各オーディオユニットの再生ボタンをタップして、テスト音声を聞いてみてください。次に、XIOとサラウンドスピーカーの両方で同じくらいの音量に聞こえるように、音量レベルを調整してください。これにより、配置が最適でないことによって生じる不整合が補正されます。



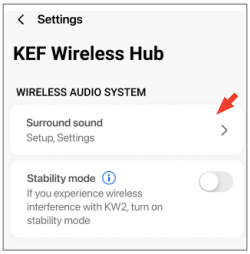
6.2 オーディオモードの変更

この機能を使用すると、希望するバーチャライザーとチャンネルのレイアウトを選択できます。

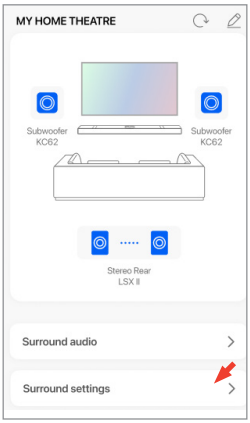
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン （⚙） をタップします。
2. 「KEF Wireless Hub」をタップします。



3. 「ワイヤレスオーディオシステム」の下にある「サラウンドサウンド」をタップします。

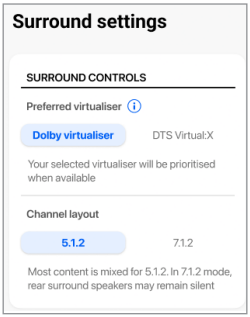


4. 画面下部の「サラウンド設定」をタップします。



5. ご希望の仮想化ツールとチャネルレイアウトを選択してください。

「5.1.2」チャンネルレイアウトが選択されると、サラウンドチャンネルはリアスピーカーに振り分けられます。「7.1.2」も選択可能ですが、一般的な映画コンテンツでは聴覚的な効果がほとんど得られないため、推奨されません。



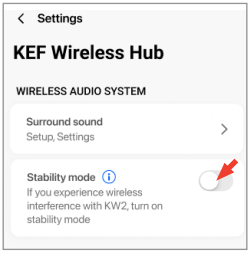
6.3 安定モード

この機能は、干渉が激しい環境や、接続が切れたり音声が途切れたりする場合に、パフォーマンスを安定させるのに役立ちます。送信機／受信機でのファームウェア更新の失敗も、接続の不安定さを引き起こす可能性があります。

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン( )をタップします。
2. 「KEF Wireless Hub」をタップします。



3. 「ワイヤレスオーディオシステム」の下にある「安定性モード」を有効にしてください。



7. トラブルシューティング

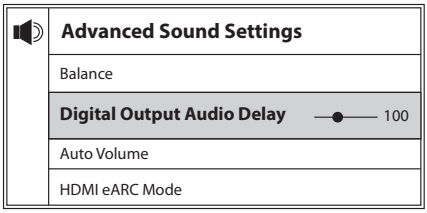
1. 音声出力に遅延が生じます（一般に「リップシンクの問題」として知られています）。

考えられる原因：

- 遅延は、オーディオ伝送時のバッファリング、他のワイヤレス機器からのRF干渉、またはサウンドバーとの同期がずれたことが原因で発生する場合があります。

推奨される対応：

- テレビのオーディオ遅延設定を調整してください。この設定は通常、テレビの「詳細なサウンド設定」にあります。この遅延は、オーディオの遅延を減らすことで補正することができます。



- 電源の再投入：テレビとサウンドバーの両方の電源を切り、10秒間電源プラグを抜いた後、まずサウンドバー、次にテレビの順に電源プラグを差し直してください。
- サウンドバーとテレビの両方で、最新のファームウェアを確認し、インストールしてください。

2. 音声が頻繁に途切れます。

考えられる原因：

- 頻繁に音切れが起こる原因は、通常、近くの機器からの無線干渉、あるいはスピーカーやKW2 RXレシーバーがサウンドバーから離れすぎている、あるいは壁や家具に遮られていることによるものです。

推奨される対応：

- KEF Connect アプリで 安定モード をオンにしてください。
- サラウンドスピーカーをサウンドバーの近くに配置し、互いに視界が遮られないようにするとともに、干渉を減らすため、ルーターやその他の無線機器から離して設置してください。

3. なぜKW2 RXレシーバーのファームウェアを更新できないのですか？

考えられる原因：

- 近くの機器からの無線干渉により、XIOサウンドバーとKW2 RXレシーバー間の通信に支障が生じています。
- KW2 RXレシーバーが、XIOサウンドバーから離れすぎています。

- XIOサウンドバーとKW2 RXレシーバー間の無線信号が、壁や家具、その他の障害物によって遮られています。

推奨される対応：

- 可能な限り、XIOサウンドバーとKW2 RXレシーバーの間に障害物のない見通しを確保してください。
- 複数のKW2デバイスが接続されている場合は、1台ずつ更新してください。
- 干渉の原因となる可能性のある、付近にある無線機器を取り外すか、電源を切ってください。
- ファームウェア更新ページを再読み込みして、もう一度更新を試みてください。

4. XIO送信機のファームウェアを更新できないのはなぜですか？

考えられる原因：

- 近くのデバイスからの無線干渉により、ファームウェアの更新中に通信が妨げられています。

推奨される対応：

- 干渉の原因となる可能性のある、近くにある無線機器を移動させるか、電源を切ってください。
- ファームウェア更新ページを再読み込みして、もう一度更新を試みてください。

5. なぜサラウンドスピーカーから音が出ないのですか？

考えられる原因：

- サラウンドスピーカーが正しいチャンネルに割り当てられていませんでした。
- KW2 RXレシーバーが誤ったモードで動作しています。
- 光ケーブルの接続が緩んでいるか、外れています。
- スピーカーは依然として別の音源を使用しています。

推奨される対応：

- KEF Connect アプリで、サラウンドスピーカーが「光モード」に設定されていることを確認してください。スピーカーのLEDは紫色になっているはずです。
- 光ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認してください。
- KW2 RXレシーバーがサラウンドモードになっていることを確認してください。受信LEDは白色になるはずです。
- それでも問題が解決しない場合は、セットアップからスピーカーを削除し、正しいスピーカーとチャンネルが選択されていることを確認してください。

6. なぜサブウーファーから音が出ないのですか?

考えられる原因:

- LFEモードが有効になっていません。
- サブウーファーで誤った入力ソースが選択されています。
- KW2 RXレシーバーは、サブウーファーではなくサラウンドスピーカーとして設定されています。

推奨される対応:

- LFEモードが有効になっていることを確認してください。
- KW2 RXレシーバーがサブウーファーモードに設定されていることを確認してください。受信LEDはシアン色になるはずです。
- KEF Connect アプリで「サブウーファーテストトーン」を実行し、サブウーファーが音声を正常に受信していることを確認してください。
- それでも問題が解決しない場合は、システムからサブウーファーを取り外し、再度接続してください。

7. セットアップ中にサラウンドスピーカーが検出されないのはなぜですか?

考えられる原因:

- このスピーカーは、オンボーディング手続きを完了していません。
- スピーカーのファームウェアが古くなっています。
- スピーカーとXIOサウンドバーは、それぞれ別のネットワークに接続されています。

推奨される対応:

- スピーカーのセットアップが完了し、KEF Connect アプリに独立した製品として表示されていることを確認してください。
- スピーカーのファームウェアを最新バージョンに更新してください。
- スピーカーとXIOサウンドバーが、同じ自宅のWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。
- スピーカーを再起動し、セットアップ手順をもう一度試してください。

8. なぜサラウンドスピーカーから甲高い音が聞こえるのですか?

考えられる原因:

- KW2 RXレシーバーのサブウーファーチャンネルモードが誤っています。今、サブウーファーの起動音が鳴っています。

推奨される対応:

- KW2 RXレシーバーの「Pair」ボタンを押して、ステレオサラウンドモードに設定してください。受信LEDは白色になるはずです。

- KW2 RXレシーバーのLEDによるチャンネルモード：
  - 白色に点灯 ○：ステレオサラウンドモード
  - シアンに点灯 ●：サブウーファーモード

8. よくある質問

1. ワイヤレスサラウンドシステムには、Wi-Fiネットワークが必要ですか？

- はい、自宅のWi-Fiネットワークが必要です。

2. Wi-Fiネットワークの接続が切れた場合はどうなりますか？

- ワイヤレスサラウンドシステムを利用するには、安定したWi-Fiネットワークが必要です。接続が切断されると、システム全体の動作が中断されます。

3. どのファームウェアバージョンが必要ですか？

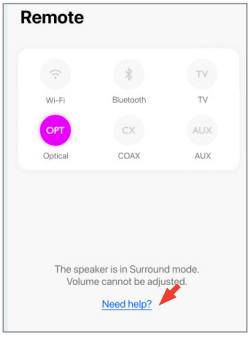
- XIO：1.5.155 以降
- XIO 送信機：2.0.0.0 以降
- KW2 RX レシーバー：2.0.0.0 以降

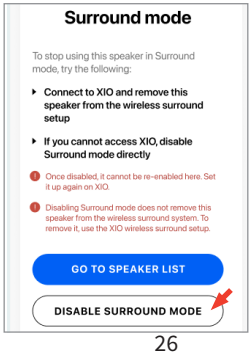
4. ワイヤレスシステムのサラウンドスピーカーを取り外すにはどうすればよいですか？

- KEF Connect アプリをご利用の場合は、「サラウンドサウンド」設定に移動し、編集アイコン（✎）をタップして、接続されているスピーカーを削除してください。



- または、KEF Connect アプリでサラウンドスピーカーを選択し、「リモート」画面に移動して、「ヘルプが必要ですか？」をタップしてください。次に、「サラウンドモードを無効にする」をタップすると、スピーカーシステムを通常のスピーカーとして使用できます。スピーカーシステムを再びサラウンドスピーカーとして使用するには、XIO上でその設定を削除し、再度設定し直す必要があります。





- あるいは、XIO、KW2 RXレシーバー、サラウンドスピーカーを含むシステム全体を工場出荷時の設定にリセットしてください。

5. KEF以外のスピーカーをサラウンドシステムに追加することはできますか?

- はい、KEF製以外のスピーカーも、KW2 RXレシーバーを介して接続することができます。なお、システムの制御には制限があり、サラウンド効果は完全に最適化されない点にご注意ください。

6. KW2 RXレシーバーのチャンネルモードを確認するにはどうすればよいですか?

- 白色に点灯 ○:ステレオサラウンドモード
- シアンに点灯 ●:サブウーファーモード

  KW2 RXレシーバーは、正しく音声を出力するために、適切なモードで接続する必要があります。モードを切り替えるには、「Pair」ボタンを1回押してください。

7. サブウーファーなしでサラウンドスピーカーを使うことはできますか?

- はい。サラウンドスピーカーやサブウーファーは、個別に追加・設定することができます。

8. サラウンドスピーカーがなくても、サブウーファーは使えますか?

- はい。ワイヤレスサブウーファーは、リアサラウンドスピーカーがなくても使用できます。

9. なぜリアスピーカーから時々音が出ないのでしょうか?

- リアスピーカーからは、ソースコンテンツに含まれるサラウンドチャンネルの音声のみが再生されます。一部の映画、テレビ番組、音楽には、サラウンド情報がほとんど含まれていないか、まったく含まれていないため、特定のシーンではリアスピーカーから音が出ないことがあります。これは正常な動作です。

その他のサポートについては、次のウェブサイトをご覧ください

kef.com